

令和5年度特集展示「赤羽史亮 ソイルズ アンド サバイバーズ SOILS AND SURVIVORS」
同時開催 収蔵作品展 「めぐる表現」

諏訪市美術館では、5月20日（土）～7月17日（月・祝）で、添付チラシの通り、展覧会を開催いたします。ぜひご取材いただきますよう、お願いいたします。

1. 会期 令和5年5月20日（土）～令和5年7月17日（月・祝）
2. 場所 諏訪市美術館 展示室
3. 入館料 大人310円、小中学生150円 ※諏訪地域小中学生無料

4. 内容

私たちの身近で精力的に制作活動をおこなっている作家の現在を紹介するという目的のもと、平成25年度から収蔵作品展と同時開催してきた特集展示。令和5年度は茅野市在住の画家・赤羽史亮（1984年—）を紹介します。

赤羽史亮は1984年、上伊那郡南箕輪村に生まれ、2008年武蔵野美術大学造形学部油絵学科を卒業。2019年より茅野市を拠点に活動をしています。

同時開催の収蔵作品展では、収蔵作品の中から絵画をめぐる表現をテーマに選出した作品を展示します。

5. その他

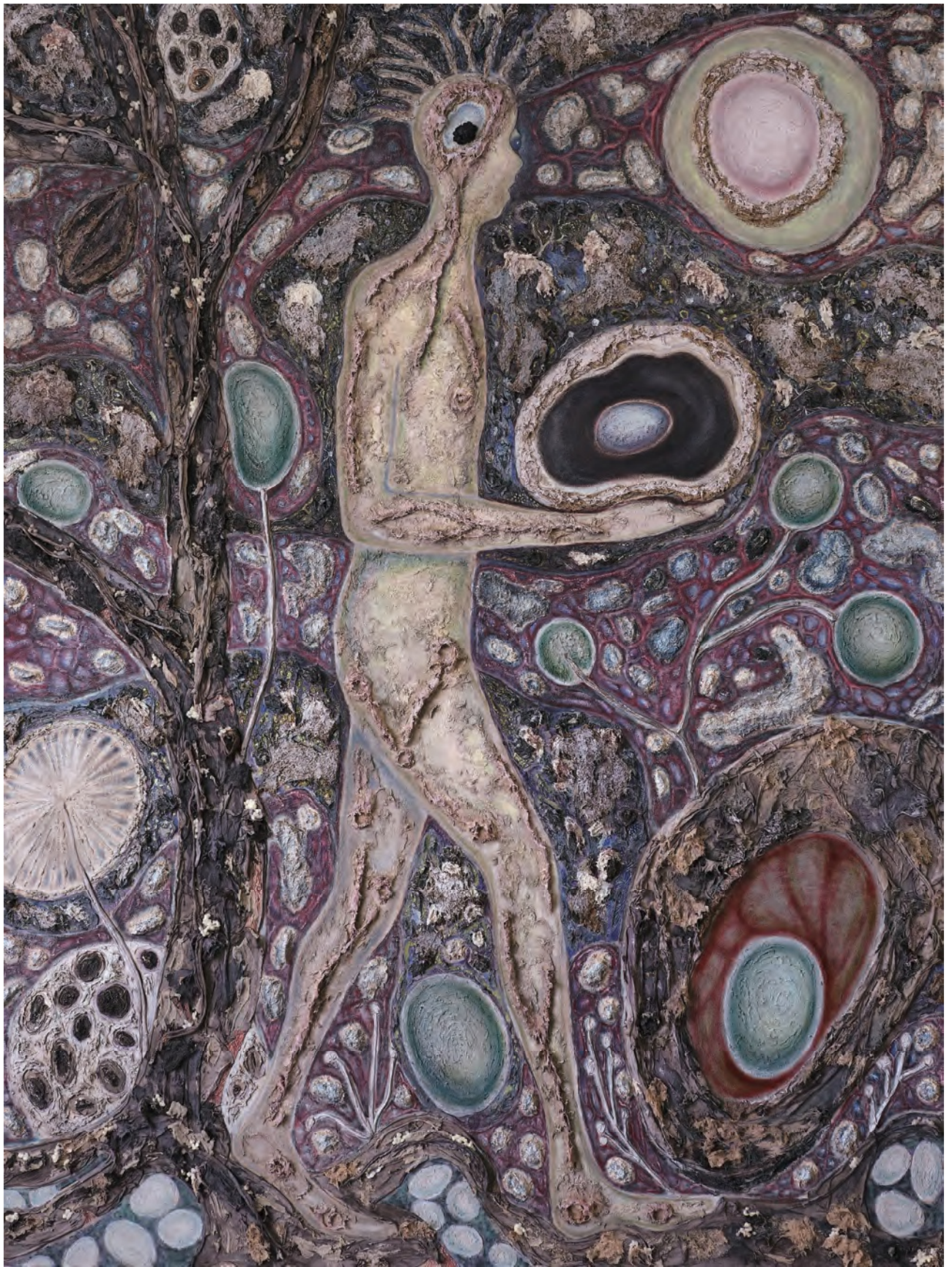
5月19日（金）午後4時から、作家ご本人が来場し取材対応させていただきます。ぜひご取材くださいますよう、お願い申し上げます。

※赤羽さんは6月17日（土）午後2時から開催するつきいちアート6月「赤羽史亮さんによるギャラリートーク」にもいらっしゃいます。合わせてご取材くださいますよう、お願い申し上げます。

★詳しくは、担当者へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



赤羽史亮
Fumiki Akahane



2023
May
20th (Sat.)
≪
July
17th (Mon.)

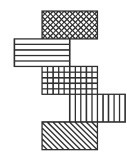
令和5年度 特集展示

Transporter, 2023, 油彩・アクリル・砂・蜜蝋・コットン・麻繊維・麻布, 2590×1940×80mm Photo: Ryuichiro Otake

SOILS AND SURVIVORS

諏訪市美術館 SUWA CITY MUSEUM OF ART

同時開催
収蔵作品展めぐる表現



諏訪市
美術館
SUWA CITY
MUSEUM OF
ART

休館日=月曜日、祝日の翌日
開館時間=午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
料金=大人310円(団体20名以上200円)、小中学生150円(団体20名以上100円)、障がい者150円
(同伴者1名まで同額)、諏訪地域の小中学生は無料

SOILS AND SURVIVORS

Fumiaki Akahane

赤羽史亮

令和5年度 特集展示



Night Echoes, 2022, 油彩・アクリル・砂・蜜蝋・コットン・麻繊維, 2275×3640×80mm Photo: Norihiro Ueno

赤羽史亮は、一貫して絵画に取り組みながらも様々にそのスタイルを変化させてきました。近年は触覚的なマチエールと彩度を抑えた色彩で、微小な有機体で埋め尽くされる地下や体内の世界を描いています。変容し続ける生物のように、赤羽の絵画は完成されたものでありながら同時に未完成で過渡的なものとして現れます。それは生命と同じく矛盾をはらんで私たちの心を揺さぶります。



Song of Mushroom, 2021, カンヴァス・油彩, 2277×1822mm Photo: Takaaki Akaishi

令和5年度 特集展示

赤羽史亮 SOILS AND SURVIVORS

同時開催・収蔵作品展 めぐる表現

2023年5月20日(土)～7月17日(月・祝)

休館日＝月曜日、祝日の翌日

開館時間＝午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

料金＝大人310円(団体20名以上200円)、小中学生

150円(団体20名以上100円)、障がい者150円(同

伴者1名まで同額)、諏訪地域の小中学生は無料



諏訪市美術館
SUWA CITY MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り4-1-14

Tel・Fax＝0266-52-1217

Web＝<http://www.city.suwa.lg.jp/site/museum/>

[交通案内]

JR中央線上諏訪駅より徒歩7分

中央自動車道諏訪ICより車で15分

本展では、初期作品から最新作までおよそ40点を展示します。鑑賞者は「絵

画を通してありのままの世界に触れたい」という赤羽の、可視と不可視の世界を往還する行為に立ち会います。それは根源的な芸術の作用であり、芸術の存在理由の一つでもあるでしょう。世界の豊かさと不思議さに触れていく赤羽の作品をぜひご覧ください。

関連企画:

〇つきいちアート6月

「赤羽史亮さんによるギャラリートーク」

日時＝6月17日(土) 14:00～15:00

会場＝諏訪市美術館

定員・申込み＝なし

参加料＝入館料のみ

〇学芸員によるギャラリートーク

日時＝7月2日(日) 14:00～14:30

会場＝諏訪市美術館

定員・申込み＝なし

参加料＝入館料のみ



My House, 2006, カンヴァス・油彩, 455×380mm Villa Magical 2014 蔵

赤羽 史亮 Fumiaki Akahane

1984年長野県生まれ。2008年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。

主な個展に2022年「Rotten Symphony」CAVE・AYUMIGALLERY(東京)、2020年「Against gravity」Token Art Center(東京)、2019年「SOMETHINKS」Compost Paintings」[[SUPER OPEN STUDIO 2019] アートラボはしもと(神奈川)、2017年「OILY YOUTH」武蔵野美術大学 gFAL(東京)など。また、2023年「VOCA展2023 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」上野の森美術館(東京)、「口肛具譚」TALION GALLERY(東京)などグループ展にも多く参加している。

skin/spore, 2022, 木材・スチールプレート・ハトメ・番線・綿布・麻布・ボンド・ジェルメディウム・アクリル・砂・麻繊維・蜜蝋・綿糸, 2620×3200×630mm Photo: Keizo Kioku

